



いしわら

5月号

令和4年4月28日

調布市立石原小学校

校長 江原 幸一

<http://chofu-schools.jp/isiwara-sho/>

挨拶溢れる石原小学校

副校長 五十野 新

木々の葉の色がますます濃くなり、季節の変化が感じられます。本年度、調布市内の滝坂小学校から副校長として異動してまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、石原小学校の子どもたちと出会ってから1か月がたちました。どの学年も落ち着いて、学習や行事等に取り組んでいます。石原小学校の子どもたちは、挨拶がよくできていると感じています。登校時や学校内の廊下で進んで挨拶をしてくれる子どもたちがとても多く、うれしく思います。石原小学校の子どもたちと早く仲良くなれそうだと楽しみにしております。

挨拶をすることはとても大事なことだと誰もが言います。しかし、形だけで挨拶しても意味はありません。「なぜ、挨拶をすることは大切なのだろうか」と疑問に思う子どももいるはずです。

1年生の国語の教科書に「たのしい いちにち」という見開きのページがあります。1年生はすでに学習をしている内容です。学校生活の場面が描かれているだけで、文は書かれていません。子どもたちは、挿絵を見ながら、様々なことを考えます。挿絵に出てくる先生や子どもたちが笑顔でいることにまず気付きます。そして、楽しい一日を送るには何が大切かを考えます。そこで必要なのが挨拶だということが分かります。

挨拶には、「おはようございます」「ありがとうございます」「失礼します」「さようなら」などの決まった言葉が多いですが、相手を思いやる気持ちを持ち、自分から進んでから発せられることが大切です。挨拶溢れる石原小学校の子どもたちは、思いやりのある心をもっているのだらうと想像します。

また、挨拶の仕方で心掛けてほしいと言われることには、

- ・相手に聞こえる声ではっきりと
- ・相手の目を見て笑顔で
- ・自分からすすんで

などがあります。ぜひ、相手の心に響く挨拶ができるようにご家庭でもお子さんと挨拶の大切さについて話していただければと思います。

本校の学校経営方針の中に「和顔愛語」という言葉があります。和顔とは、和やかな笑顔。そして、愛語とは、思いやりのある愛のある言葉という意味です。挨拶溢れる石原小学校なら、きっと叶うと思います。子どもたちが安心して過ごせる温かみのある学校となるように、地域や保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ: スクールカウンセラーによる5年生全員面接の実施について

東京都教育委員会の方針により、5年生全員に対してスクールカウンセラーによる面談を1学期中に実施します。子どもたちにとって、スクールカウンセラーに相談しやすい関係をつくり上げていきます。